

# 南大隅町との連携概要書

## 雄大な自然に包まれた 最南端の町



鹿児島県南大隅町は、鹿児島県東部大隅半島の南端に位置し、北緯31度線が通過する温暖な気候と三方を海に囲まれた豊かな自然を有しています。

主要産業は、第一次産業で、農業においては温暖な気候を利用して、多種多様な品目が生産されています。また、九州本土最南端の「佐多岬」や近年脚光を浴びている「雄川の滝」を中心とした観光産業の育成にも取り組んでいるところです。



佐多岬



雄川の滝

## 主要農産物 海産物

- ◎主産業 農漁業
- ◎主要農産物 バレイショ、ピーマン、スナップエンドウ、タンカン、マンゴー、豚、肉用牛、プロイラー
- ◎主要海産物 カンパチ、ブリ、イセエビ、キダカ（ウツボの干物）、トサカノリ



- ◎行政区 鹿児島県南大隅町（H17.3.31に根占町と佐多町が合併）
- ◎町長 森田 俊彦（もりた としひこ）
- ◎交通 飛行機：羽田空港→鹿児島空港（約2時間）  
バス：鹿児島空港→鹿屋市（約1時間40分）  
鹿屋市→南大隅町（約50分）
- ◎面積 213.57 km<sup>2</sup>



## 東京農業大学との関係

◎アジア・アフリカ研究会

①平成8年より、アジア・アフリカ研究会合宿が始まる。以降、農業実習の場として、花卉（バラ・カーネーション等）、施設園芸（ピーマン・ミニトマト・いんげん等）、露地野菜（スナックエンドウ・甘藷・ばれいしょ等）、お茶、稲作、タバコ、畜産（肉牛・プロイラー・養豚）と、常時南大隅町内の10農家前後が提供する。学生は様々な作物や畜産の現場を通して、農業だけでなく農家の暮らしや地域を学ぶ。合宿中には農家の方達と地域勉強会も行い、学生主導のゼミも行う。受入れ農家の方以外の地域の人達との交流会も実施する。毎年ゴールデンウィーク時をメインとし、他、春夏長期休み期間を利用し訪れた学生は、延べ人数430名にのぼる。

②平成15年、国際バイオビジネス学科宮浦先生が調査研究に訪れる。

③平成16年、国際農業開発学科農業開発政策研究室の調査研究地（井上いぶき室長）として、研究室生約8名が来町。最終日には地域でプレゼンテーションを行う。

## 東京農業大学出身者

○梅木涼子（国際農業開発学科卒、平成9年移住）

移住当初、ミニトマト農家に勤務し、新規就農を志し、その後、農業機械店に嫁ぐ。移住以降、アジアアフリカ研究会合宿受け入れの事務局として活動するとともに地域おこし活動を積極的に展開している。地域団体「南大隅未来創造塾」を立ち上げ、地域のマップ作りや親子が地元で楽しめる体験イベントを主催する。他に南大隅町ツーリズム協議会会長、社会教育委員として活動。

○榎本理穂（国際農業開発学科卒、平成16年移住）

南大隅町内の富田バラ園に勤め、バラの栽培に従事している。青年農業者団体はえんかぜに所属し、地域活動にも積極的に参加している。

## 今後の交流の可能性

- ◎まちづくり及び人づくりに関する事項
- ◎自然・環境・産業及び地域振興に関する事項
- ◎教育及び伝統文化の発展に関する事項
- ◎学生の研修に関する事項
- ◎その他両者が必要と認める事項

実習中の農大生



### ◆東京農業大学の窓口教員

国際食料情報学部 国際農業開発学科 志和地弘信教授  
国際農業開発学科 入江憲治教授  
食料環境経済学科 堀田和彦教授

### ◆南大隅町の担当窓口

南大隅町役場 総務課 課長 相羽康徳（あいばやすのり）  
主幹 中之浦伸一（なかのうらしんいち）  
〒893-2501 鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北2 2 6 番地  
Tel.0994-24-3111 Fax.0994-24-3119  
E-mail : sousei@town.minamiosumi.lg.jp